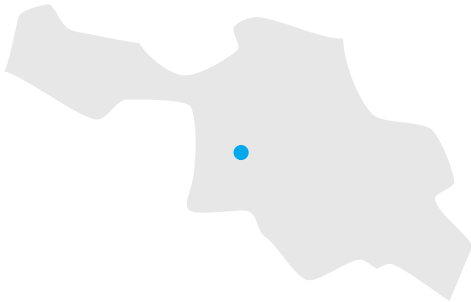


写真でよみがえる50年 vol. 11



—— だるま市 ——



昭和48年当時のだるま市

白岡町の新春の風物詩である「白岡八幡宮だるま市」が、毎年2月15日に境内で行われます。このだるま市は近在近郷でも有名で、たくさんの善男善女が訪れます。境内には、だるま屋のほかにもたくさんの露店商が出てにぎわいます。

ふるさと
白岡紀行

あおぎりの子
校庭の南側に、本校のシンボルである「あおぎり」がそびえ立っています。あおぎりの子たちは、1年中そびえ立つあおぎりの木と共に成長していきます。春は、大きな葉の緑色が日に日に深まっていくのを眺め、自らの成長をそこに写しとります。夏は、大きな木陰に包まれ涼をとり、思いやりの心をはぐくみます。秋は、いつぱいに実を付け、青空に映える雄姿を仰ぎ見、自分の将来を夢に見ま



菁莪小学校のシンボル
「あおぎりの木」

わが校自慢

菁莪小学校



全校的な取り組みになっている
「朝のあいさつ運動」

す。冬は、きれいに葉を落とし、寒風の中にも毅然と立つ姿に力強さと忍耐を学びます。
あおぎりの子たちは、6輪の太い年輪を自らに刻み込むことを常に心がけ、1日1日をたいせつに生きていきます。
本校は、古き良き伝統と恵まれた教育環境の中で、「継承の中の創造」を学校経営方針とし、「信頼関係を基盤に据えた教育」を推進しています。
研究を続けて6年目となる道徳教育では、地域のかたがたの協力を仰ぎ、子どもたちの心を揺り動かす授業を実践し、道徳的実践力を培うことを目指しています。また、「身につけるべきことは確実に身につけさせる。」を全職員が強く意識し、基礎基本の徹底に力を注いでいます。
朝のあいさつ運動は、自発的な取り組みの姿も見られるようになり、今では全校的になっています。これからも本校は、「夢・豊かな心・確かな体力をはぐくみそして、笑顔と活力に満ちた児童の成長」を目指していきます。